



# けいし



<教育目標> 上妻を愛し、夢や希望に向かって、  
たくましく生きる子どもの育成

令和3年2月1日

## 梅二月ひかりは風とともにあり 西島 麦南

1月8日の雪の日に、運動場を駆け回る子ども達の姿は、待ちわびた雪を喜ぶ心にあふれていました。そして、もう立春（2月4日）。2月を迎え、心なしか陽光も高くなり、光の春がゆっくりと、しかし着実に近づいてくるのを感じます。「二月は逃げる」の言葉通り、子ども達もまとめの活動に追われ始めます。残された日々、子ども達との時間を大切にしたいものです。



## 樹木の梢（こずえ）に、耐え抜く姿を見る ～春は来る！～

2月に入ると、なぜか『早春賦（そうしゅんふ）』の歌詞が頭に浮かびます。

暦の上では、すでに春。しかし、「春は名のみ、風の寒さや・・・」の歌詞の通りに、本格的な春の訪れは、まだまだ先のようにです。でもその梢に目をやると、そこには春に向けて着々と準備しているつぼみの姿をみることができます。物言わず、じっとしていると感じられる樹木は、「不言実行」の言葉のように、厳しい冬の間ただひたすら耐えながら、しかし、確実に春の準備を続けています。

この樹木の強さや耐え忍ぶ力は、私たちが学ばなければいけないことです。

1月の中旬、寒い日が数日続きました。雪の舞い散る朝の冷たい空気の中を登校する子ども達の姿を見ていると、「今は寒くてつらいけど、もう少しの辛抱だ。でも、この寒さはいつまで続くんだろう。」

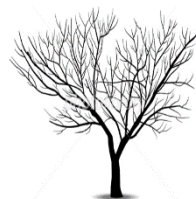
掃除の時間、冷たい水に手をつけて雑巾を洗っている子ども達の姿を見ると、

「水は冷たいな。でもがんばって掃除しなきゃ。う～ん。やっぱり冷たい。」

そんな声が聞こえてきそうです。

でも、春の喜びを知るためには、この冬の寒さは必要なもの。まるでコロナ禍の世の中が終わり、みんなが楽しむ世の中が来るのを待つかのように。

『春は来る』という歌を思い出しました。



### 春は来る

春はそよ風 地平線  
目指して駆けてく 軽やかに  
雪解けの水の 冷たさは  
まぶしい陽射しに 輝いて

生命 あるもの ひたすらに  
待って いたのか 春は来る

遙か山々 気高さよ  
舞い飛ぶ鳥たち 青い空  
海よ大地よ 草花よ  
わずかな 夢から 目覚めたか

生命あるもの ひたすらに  
待っていたのか 春は来る

## 2月の主な行事

- 3日（水） 来入児保護者会
- 10日（水）～11日（木） 修学旅行（6年 長崎）
- 12日（金） 6年振替休日
- 16日（火） スクールカウンセラー来校

- ※ 卒業式 3月19日（金）
- ※ 修了式 3月24日（水）



ボランティアさんによる「朝の読み聞かせ」が始まりました。月に一回、3月まで続きます。



読み聞かせ  
（1月15日）

## 毎日の給食に感謝！



戦後、昭和22年12月24日に、東京都内の小学校でアメリカからの給食用物資の贈呈式が行われました。その後、関東の各県で試験的に給食が始められ、それ以来12月24日を「給食記念日」と定めています。

その後、昭和25年から学校給食を推進するために、冬休みと重ならない1月24日から1月30日までを「学校給食週間」とするようになりました。

本校でも、給食委員会の子供達が生徒会時間に「給食記念日」のことについて伝え、各学級で書いた給食調理員さんへの感謝の手紙を渡しました。

<2年生の手紙から>

たくさんの分をつくってたいへんですね。いつもおいしいです。今日のきゅうしょくもおいしかったです。先生たちのおかげで、いつも力がわいてきます。すききらいがなくなりました。 Iさん

いつも、きゅう食を作ってくれてありがとうございます。いつもきゅう食おいしいです。これからも、おいしいきゅう食を作ってくださいね。 Uさん

## 「持久走記録会」(1/28)



### 上妻小のキラリ ★ 一番星

### 美点発見！

十一月から始めた全学年による縦割り班掃除「だしき掃除」が、とても上手になってきました。

『上妻小のキラリ★一番星』を紹介します。

**Tさん**  
階段のかべと床のさかい目を、ぞうきんで力強くふいていました。また、バケツの周りにこぼれていた水に気づき、すぐにふきとり、安全に気を配ることができました。

吉川みゆき先生より

**Nさん**  
毎日、すき間をあげずに、きれいにぞうきんがけをしていました。六年二組の床は、毎日ピカピカです。ありがとうございます！

永松たけし先生より

**Oさん**  
いつも、もくもくとぞうきんがけをしています。習字のすみがこぼれているところは、細かく強くふいています。りっぱなそうじたいどです。

村上ひろし先生より

**Tさん**  
四年生や五年生のお兄さん達といっしょに手洗いの掃除をがんばっていましたね。ぞうきんがどんどん黒くなってきたね。

倉住えり先生より

**Uさん**  
掃除が始まると、すぐに黙って取り組んでいます。ぞうきんをすみずみまでして、時間になっても汚れているところを見つけたら、きれいになるまでしてくれれます。そんな姿を低学年が見て、まねをしているので、とてもいいお手本になっています。いつもありがとうございます。

大和たかひろ先生より

ホームページ上では、児童名をイニシャルに変更し、画像は、ぼかして加工しています